

町の人口		8月の納税	
◆総数	9,112人	木材引取税	過年度分
男	4,366人	町・県民税	2期分
女	4,746人	保険料	8月分
7月中の異動	減 4人	保育料	〃
出生	11人	国民年金保険料	〃
死亡	6人	◆納期	8月31日
転入	19人		
転出	28人		
◆世帯総数	2,010世帯		
一住民登録人口	7月末現在		

# とうえい

## 広報

発行 東栄町役場  
編集 企画室  
愛知県北設楽郡東栄町大字本郷  
字上前畑25 TEL 東栄(代) 400

印刷 株式会社水島印刷所

### 建設事業、着々進む

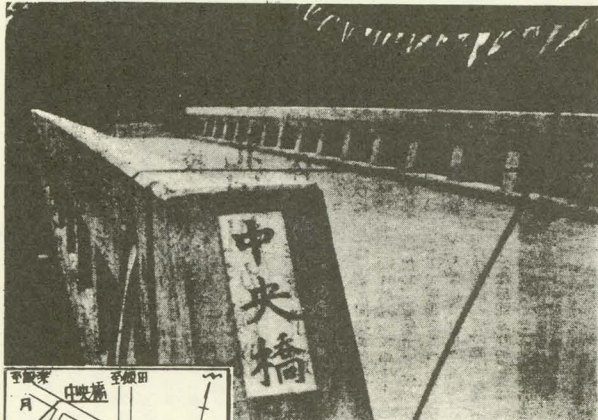
## 相次いでしゅん工式 農道整備の中央橋など

道路は、町の動脈として、また産業開発の基幹として町発展との結び付きが大きいだけに、その改良整備は行政上最も重要視されています。それだけに国・県道はもちろぬ、町道、農・林道に至るまで、建設事業は限りなく進められているので、ことしのはじめに本郷橋が、そして七月には、月の中央橋、中設楽農道、下柿野の向嶋橋と相次いでしゅん工式をしました。そこで、この七月にしゅん工式を終えた三つの改良整備事業を、ここに紹介します。

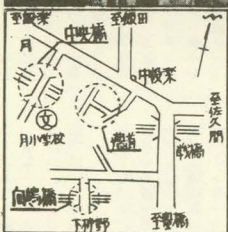
### 通学用にも

#### 重要な中央橋

七月十二日にしゅん工式を終えた中央橋は、農道在久間・設楽線と月地内で結ぶ、町道中村尾呂線の起点にあつて御殿川に掛かり、月小学校への通学用道路としても重要な橋です。従来木橋でしたが、老朽し通行が危険なため、農道整備事業として永久橋に改良されたものです。こんど生れ変わった中央橋は、全長二百五十、巾員三・三、総工費三百五十万と約三ヵ月半の月日を費やして、去る七月十日りに完成したものです。しゅん工式は、完成を祝つて月小児童のほか部落民がこぞつて参加し、児童数隊を先へん重要な橋で



上…永久橋に生れかわった中央橋(月地内)  
左…事業の見取図



### 機械化にそう

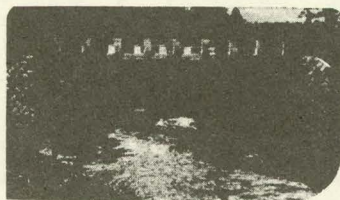
#### 中設楽農道

中設楽部落の西側にあたり、大千瀬川に沿つて五ヘクタールの広々とした田園があります。ここから県道外貝津・先林線に通ずる道路が、こんど改良された中設楽農道です。延長は五百十、巾員三、総工費は三百五十万が投入されています。

### 部落の発展約す

#### 向嶋橋

永久橋化の夢が突つた向嶋橋は、下柿野地内の柿野川に架設されているもので、町道下柿野三ツ瀬線から分岐する町道下柿野・小野線の起点近くにあたりま



下柿野の向嶋橋

橋長十、巾員三、総工費は百四十五万と少し小じまりとした橋ですが、できればはみことなもです。前記二つの工事は県費補助事業ですが、この橋は町単独事業として施工されています。向嶋橋の改築で、部落の発展はもちろぬこと、機動力の搬入も可能となつて、農林業の開発はここに約束されたといえます。

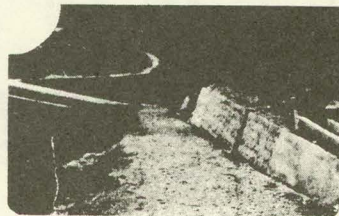
### 年少リーダー研修会

#### 第三回を東栄荘で開催

参加人員百八十四名を迎えて七月二十七日・二十八日の両日青年の家「東栄荘」において、郡内の各子ども会(東栄町は校区単位)の年少リーダー研修会が盛大に行なわれました。この研修会は、青少年育成事業の一環として行なわれるもので、過去二回の研修会は津具村のセンターで行なわれ、こんどが第三回目です。二十七日には、東栄町長はじめ多数の来賓、関係者を招き開講式が行なわれ、各町村から集まった研修生が二日間わたつて、子ども会のリーダーとなるための講習を受けたものです。リーダーとしての心構え、グループで行なう屋内、屋外ゲーム、人工呼吸法、キャンプファイヤーなど、暑さもよそに熱心な態度で研修に取り組んでいます。

### 子ども会の目的

子どもたちの生活の場は、学校、家庭、校外と大きく三つの場に分かれています。それぞれが社会人となるためには、それぞれをよよくしていかねばなりません。学校と家庭においては、先生や親たちに指導していただけて、開放されたなかにおかれていますので、ともすると悪い環境におちいり非行化することもあ



中設楽農道

ここに御紹介したように、新しい町づくりをめざして、建設事業は着々と進められているのです。明日を切り開くために、東栄町は常に躍動をつづけています。その原動力は、なんといっても町民各位の御理解と御協力なのです。一層の御協力をお願いします。

### 東栄荘

#### 連日の盛況

四月末にしゅん工式を終え五月から運営されている青年の家「東栄荘」では、ことごとく連日の盛況ぶりを呈しています。夏休みには、都市部からの学生の利用者がぐんぐん増えたとありますが、地元の利用者もかなり増えています。五月から三ヵ月間の利用者数は、三百二十七人で、そのうち九百七十九人が宿泊利用者です。なお、八月いっぱいには利用申込者で満員となっています。

### 初心者狩猟講習会の開催

- 日時 昭和42年9月8日 午前9時
- 場所 県設楽事務所会議室
- 受講対象 初心者 甲・乙・丙種
- 申込場所 東栄町役場 経済課
- 申込期日 昭和42年8月31日まで
- その他 受講希望者は印鑑、手数料 500円 写真1枚(上半身、無帽、無背景、ライカ版)を持参



# 台風に備える

いよいよ本格的な台風シーズンを迎えました。ラジオ・テレビの気象予報で、台風の襲来も予知でき、これによる災害の規模などは決して予断を許しません。伊勢湾台風からもうすでに八年……あの苦い経験を基礎として、私たちはお互に台風対策、すなわち「台風の知識と応急措置」について、十分心得ておき、台風災害を最少限に防げるようにしたいものです。

## どろなわではおそい!

### 日ごろから防災準備を

八月から九月にかけて、必ず台風はやってくるものと覚悟しなくてはなりません。

普通の家なら、風速二十五メートルぐらまでは、せいぜいかわらぐら程度の被害ですみませんが、建ててから十五年以上の家ですと、一応補強しておくほうが安全です。コンクリートの基礎と土台がしっかりとしてなかつたり、土台を「白あり」に荒らされていたりすると倒壊する危険が多いようです。よく点検して見ましょう。またスレートやトタン屋根のき場の部分のきが、か所でもゆるんでいると、そこから風が吹きこんでめくれ、屋根全体がとんでしまうことがあります。かわらの場

## 台風時の登下校

台風時における児童・生徒の登下校について、各学校では県教育委員会の通達をもとに指導計画が立てられていますが、各家庭においてもこれを確認しておき、台風時には適切な処置ができるようにしてください。

一、登校する前に暴風雨警報が発令されている場合  
 (1) 始業二時間前までに解除されたときは平常通りの授業を行なう。  
 (2) 始業二時間前より午前十一時までに解除されたときは、

## 農作物の対策も

台風は毎年来るものですから風の害を受けやすい果樹園などでは防風林を作ります。また耕地は排水しやすいようにしておきます。台風の来る時期はほぼ決まっていますから、これを回避する作物や品種を選ぶとか、台風にあつても害が少ないように、じょうぶに育てることがたいせつです。

しかし、収益をあげるためには、台風回避ばかりも考えておられません。台風の時と作物の種類や、その生育段階に応じた対策をしなければなりません。また、台風後は病害虫が発生しやすいので、防除が必要で

## 交通安全への願い

### 運転者の心得

- 自動車や原動機付自転車を運転するときには十分に注意すべきことがらです。十分心得てください。
- 運転する前に
  - 車の運転に酒は絶対禁物です。運転前には、たとえ少量の酒でも、飲んだときは酔いがすつきりさめるまで待ちましょう。
  - 疲れているとき、イライラしているとき、病気のとき、眠くなる薬などを飲んでいたり、道路を運転するときは、泥
- 運転免許証を確認しましょう。自動車、自動車の損害賠償責任保険証明書も。
- 車はよく点検し、十分に整備しておきましょう。ハンドル、ブレーキ、タイヤ、灯火の点検整備をおこなうこと。赤ランプ、反射板などを車内に用意しておきましょう。
- 非常用の発炎筒、赤い旗、赤ランプ、反射板などを車内に用意しておきましょう。
- ぬかるみや、水たまりの多い道路を運転するときは、泥
- よけ器をつけましょう。
- 雪道を運転するときは、タイヤにチェーンをつけるか、スノータイヤの使用を。
- 座席でないところに人を乗せたり、座席や荷台でないところに物を積んではいけません。
- 貨物自動車の荷台には、見張りが必要な最少限度の人を乗せることができます。乗車や積載の制限をきまり、その制限をこえるときは、かならず警察署長の許可を受けましょう。
- 車に人や荷物をのせるときには、運転のさまたげになつたり、車の安定が悪くなつたり、外から方向指示器、ナンバプレート、制動灯、尾灯

(警察署長)

## 運転手さん、熱心に受講

### 出席者92%の好成績

東栄町交通安全推進協議会、同交通安全協会、それに自家用車組合の三者共催による法令講習会が、警察署の協力を得て去る七月二十八・二十九の両日、町内三会場で行なわれました。



法令講習「青年の家」

三輪地区で奈根小学校を会場とし、翌二十九日には青年の家、東栄荘の講堂において、残る本郷、園、御殿、下川の四地区を対象に行なわれたものです。講習会には、警察署の深川交通係長をはじめ担当官を講師に迎え、スライドによつて交通事故の原因などを会員の目に訴えたのち、道交法の要点や交通徳の重要性など、約二時間にわたつて講義が行なわれ、集まった会員たちも、最後まで熱心に受講しました。この二日間、その成果を期待したいもので

## 台風の豆辞典

**台風の発生** 台風は、夏から秋にかけて多く発生し、年平均28個ぐら発生する。このうち日本への襲来は、年平均10個ぐらである。

**台風の規模**

熱帯低気圧の分類

総称	名称	台風域内の最大風速
熱帯低気圧	台風	17m/秒以上 風力8以上
熱帯低気圧	弱い熱帯低気圧	17m/秒以下 風力7以下

○風力7……木全体がゆれる。風にむかつて歩きにくい。波がしらがくだける。  
 ○風力8……小枝が折れる。風にむかつて歩けない。波がしらの端は水けむり。

台風の大きさ(強さ)

程度	1000mb等圧線の半径	中心気圧	最大風速
ごく小さい(弱い)	100km以下	990mb以上	25/m秒未満
小型(なみ)	100~200	960~989	25~34
中型(強い)	200~300	930~959	35~44
大型(非常に強い)	300~600	900~929	45~54
超大型(猛烈な)	600以上	900以下	55以上

## 大千瀬 豊漁の見通し

### 友づりはや期待はずれ

大千瀬川(旧振草川)の鮎の漁獲は、この十五日からはじめられた「網入れ」で最盛期にはついています。この川の漁業を

管理している振草川漁業協同組合では、ここの春、稚鮎約千四百キロを放流しましたが、六月から七月にかけての日照り続

きのよる減水で、その育成が心配されていましたが、その後の増水で順調に育ち関係者を喜ばせています。

大千瀬川の鮎は、風来町の寒狭川とともに全国的に知られ、ことしも東京、静岡、名古屋などの遠隔地からつり愛好者たちが押しかけ、連日のにきわみませんでした。ここ数年来の全川開放という魅力もあって、外来の入漁者は年々増え、いまでは、地元の入漁者とはほぼ同数の人たちが友づりを楽しみ

にやつて来ています。

組合では、解禁当時川の状態が悪く友づりの成績はよくなかったが、放流数からみても今後の網入れや、やな場での豊漁は十分期待できるといっており、最終的には五千キロ以上の水あげが予想されています。

なお、大千瀬川の鮎は、組合のあつた主に関東方面へ出荷され、料理店などを通してその味覚が喜ばれています。

このように、趣味と観光を兼ねさせてくれる大千瀬川の鮎つりが、全国的にその名を広くつたこと、この「網入れ」の役割も大きいだけに、今後さらに漁業対策などでの充実を期待したいものです。

# 広報通信欄

## 農作業と対策

### 稲作

四月から走りつづけた稲作マフソンは、いよいよ最後のコーンにはいりました。出穂時ほどは五倍におちるか十倍以上と、これも同じ十倍以上見えますが、これが一週間の稲作(稔刈)も、秋ウナカ、台風(をいかにしよう)に乗り切るかにかかっています。いずれも秋落型の短距離選手で疲れています。当初目標の最敬礼の稲作にするよう最後までがんばってください。

一、稲刈期のいもち防除  
出穂後二十日までに穂いもちにやられると百割層米となりま

す。三十日持ちこたえれば九十割とれます。山間部は穂がきれいなようでも、おそい稔刈も一度最後の薬剤散布をしてください。

二、秋ウナカの防除  
昨年被害のひどかったのは、八月二十日から九月十日までで、一株五匹以上ウナカがおつたらすく薬剤散布をしてください。

三、台風対策  
台風シーズンです。予報によれば、一、二回はきそうです。台風が近づいたら田に十分水を張ってください。台風通過後は病害虫(いもち、しらほがれ、



ウナカ、アワヨトウ)が発生しやすいのでよく注意し、発見次第早く防除すること。  
倒伏したものは、成熟期に近いものは刈取り、早すぎるものは引きおこして五、六株ずつ結

### 農協だより

#### 自賠責共済(保険)の改訂

自賠責共済(保険)とは、自動車損害賠償責任共済(保険)の略称です。この共済は、耕うん機以外のエンジンの付いたもので道路を運行する車は、全部加入しなくてはならないことになっていきます。

このたび、政令により保障金額および掛金率が次の通り改訂されましたので、ご了承ください。

- (一)限度額の引き上げ  
死亡共済金額 百五十万円を三百万円に引き上げる。
- (二)改訂前(改訂施行日) 八月一日(政令施行日)  
(掛金率(十二か月))  
① 自家用自動車 九、〇三〇円  
② 小型自動車 一〇、六二〇円  
③ 軽自動車 一四、二八〇円  
④ 原付自転車 二、六六〇円

改訂前に契約したのものについても、八月一日以降発生した事故には改訂限度額による共済金を払う。改訂前契約したものに對する掛金の不足分は追徴しない。

●主簿の農業学校を開設して  
農家の兼業特には一層増加の傾向にあり、特に当町においては農業が主簿の肩にかかっていることがはなはだ多い。主簿

### 森組だより

#### 育林と害虫防除

本格的な夏を迎え、山林管理の上でたいへん多忙な時期となりましたが、ちょっとした注意が林木育成上、大きな差となって現れることを考えてみたいものです。

◆ 下刈りの最盛期にはいつてもありますが、できれば遅くとも八月下旬までには完了したいものです。「労力不足だから」と通年作業をやっている方がありますが、百害あって一利なし、皆さんの所有面積と労働力に合った省力の方法を検討してみたい。具体的には

- ① 乾き具合や、地形を考慮して全刈り一辺倒ではなく、筋刈りや中刈りを行う。
- ② 林地肥培によって、幼令成長をうながし、下刈りを早目に切り上げる。一般に二、三回の施肥によって、二、四年下刈りの短縮ができるから、経済的に

も十分採算がとれるし、林地培養の効果も期待できる。

③ 下刈機の導入は、個人で導入できない方も、森林組合の協業事業を利用する方法もあります。

④ 除草剤は、現在のところ節類に對する塩素酸ソーダ五〇％含有の粒剤のもの、ヘクターL当り百発施用が、下刈り用としては標準的使用方法です。

ただ植栽後三年度以上でないといと、植栽木に葉害が出やすいので十分注意して、手刈り等の使い分けは絶対に必要。造林予定地に除草剤を使用し、翌年の発生を弱めたり、下刈りを行ないやす状態にすることも一つの工夫です。

◆ 五、六月の異常乾燥で、今年にはスギハダニが早目に発生、豪雨型極雨で棲息密度も下つてはいますが、再び増加が考えら

として母として、しかも農作業の働き手として心身を粉にしてる奥さん方の立場を社会的にも経済的にも高めるため、そして一家をそろって明るい健康な生活を築くため、農協婦人部では主婦農業学校を開設しました。入校申込者は三十五名ほどで、七月十日青年の家で開講式を行ない、続いて健康管理についての講話を聞き第一日を終了しました。

### 戸籍の窓口

- (七ヶ月受付分)
- よろこび (出生)  
(出生届)(保護者)(大文字)  
高橋 一夫 彦 本郷  
尾崎 伸浩 勇  
鈴木 玲子 義一 中設案  
伊藤 勝 孔明  
片桐ちとせ 昌司  
石川裕美子 博敏 下田

### タバコは町内で

- 中野 幸男 保人 川角  
本田 博 和男 御園  
内藤 一弘 虎男 三輪  
片桐 文隆 澄男 振草  
市野 洋美 正雄  
かなし (死亡)
- (氏名年令)(世帯主)(大文字)  
伊藤 一 87 茂一 本郷  
原田 股勝 38 恵美子 中設案  
伊藤 力 69 元 下田  
佐々木 172 正実  
伊藤 トシエ 60 由一 足込  
夏目はつ の 86 雄八 御園



### 郷土の文化財

加賀野から中設案に通じる国道一五二号線、その下を流れる大千瀬川(旧振草川)のむかいの山が、設案城のあった城山です。

東、西、北の三方は、大千瀬川の瀬戸淵とよばれる深いふちにかこまれ、自然を利用して、敵の攻撃から守るようにつくられています。山の上は二段になっており、土塁(土でつくったとりで)の跡、堀りわりの跡、ちんしゅの稲荷さまなどが残っています。

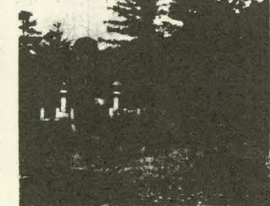
ふもとには、今でも城市(し

ろい)とよばれる地名が残っています。

この城は、平安時代のおわりごろ貴族であった伴氏(へともし)の子孫の、設案氏が築いたものといわれています。

城の形は古い作り方で、たいへん簡単なものです。歴久約二十メートルの方形で、面積約七百平方メートル、そして三つの土塁に囲まれています。

この城は、長篠の合戦で武田氏がほろびたころ、城主設案氏が三河東郷(岩瀬郷)へ移ってしまいい、現れなくなつてしまいました。現在では、この城あとに御殿の礎石が建てられています。



また町内には、一五四二年ころつくりだした別所城(本郷)のあとがあります。

この城は、この地方で勢力のあった伊藤氏が築いたといわれています。城の大きさは、歴久約二十メートルの大きなもので、東、西、北の三方は、大千瀬川の瀬戸淵とよばれる深いふちにかこまれ、自然を利用して、敵の攻撃から守るようにつくられています。山の上は二段になっており、土塁(土でつくったとりで)の跡、堀りわりの跡、ちんしゅの稲荷さまなどが残っています。

また町内には、一五四二年ころつくりだした別所城(本郷)のあとがあります。

この城は、この地方で勢力のあった伊藤氏が築いたといわれています。城の大きさは、歴久約二十メートルの大きなもので、東、西、北の三方は、大千瀬川の瀬戸淵とよばれる深いふちにかこまれ、自然を利用して、敵の攻撃から守るようにつくられています。山の上は二段になっており、土塁(土でつくったとりで)の跡、堀りわりの跡、ちんしゅの稲荷さまなどが残っています。

また町内には、一五四二年ころつくりだした別所城(本郷)のあとがあります。

この城は、この地方で勢力のあった伊藤氏が築いたといわれています。城の大きさは、歴久約二十メートルの大きなもので、東、西、北の三方は、大千瀬川の瀬戸淵とよばれる深いふちにかこまれ、自然を利用して、敵の攻撃から守るようにつくられています。山の上は二段になっており、土塁(土でつくったとりで)の跡、堀りわりの跡、ちんしゅの稲荷さまなどが残っています。

また町内には、一五四二年ころつくりだした別所城(本郷)のあとがあります。

この城は、この地方で勢力のあった伊藤氏が築いたといわれています。城の大きさは、歴久約二十メートルの大きなもので、東、西、北の三方は、大千瀬川の瀬戸淵とよばれる深いふちにかこまれ、自然を利用して、敵の攻撃から守るようにつくられています。山の上は二段になっており、土塁(土でつくったとりで)の跡、堀りわりの跡、ちんしゅの稲荷さまなどが残っています。

また町内には、一五四二年ころつくりだした別所城(本郷)のあとがあります。

この城は、この地方で勢力のあった伊藤氏が築いたといわれています。城の大きさは、歴久約二十メートルの大きなもので、東、西、北の三方は、大千瀬川の瀬戸淵とよばれる深いふちにかこまれ、自然を利用して、敵の攻撃から守るようにつくられています。山の上は二段になっており、土塁(土でつくったとりで)の跡、堀りわりの跡、ちんしゅの稲荷さまなどが残っています。

また町内には、一五四二年ころつくりだした別所城(本郷)のあとがあります。

この城は、この地方で勢力のあった伊藤氏が築いたといわれています。城の大きさは、歴久約二十メートルの大きなもので、東、西、北の三方は、大千瀬川の瀬戸淵とよばれる深いふちにかこまれ、自然を利用して、敵の攻撃から守るようにつくられています。山の上は二段になっており、土塁(土でつくったとりで)の跡、堀りわりの跡、ちんしゅの稲荷さまなどが残っています。